

平成31年1月4日

新年のご挨拶

一般社団法人全国高圧ガス容器検査協会
専務理事 佐藤 四郎

新年明けましておめでとうございます。
平成31年の新春を迎え謹んでお慶びを申し上げます。



昨年を振り返りますと、まず地球の温暖化による影響か災害のような酷暑がありました。熊谷市で41.1°Cの日本最高温度を記録し、各地で似たような暑さを記録しました。そのために東京オリンピックのマラソンのスタート時刻を朝6:00にするようです。西日本豪雨では岡山県、広島県、愛媛県等に多大の被害がありました。台風の発生も非常に多く21号と24号は日本列島を縦断していきました。地震も大阪や北海道で起き、北海道では全道停電(ブラックアウト)という事態になりました。12月になっても暖かく異常な天候が続きます。温室効果ガスを抑制するパリ協定をしっかりと守ることが大事だと感じます。

スポーツに目を転じますと平昌での冬のオリンピックがありました。スケートでは小平奈緒や高木姉妹の活躍、フィギアでは羽生結弦のケガを押しての金メダル、その功績を讃えて国民栄誉賞が授与されました。そしてカーリング女子の銅メダル。カーリングの途中でモグタイムや「そだねー」という掛け声はやり、流行語大賞になりました。

次にメジャーリーグに移籍した大谷翔平です。二刀流でピッチャーとDHで出場し、投げでは4勝をあげ、途中で肘を痛めて打つ方に専念して22本のホームランを放ち見事に新人王に輝きました。来年は打つ方だけに専念するようですが、もっと打てると期待します。

業界では、昨年も大きな事故は無かったものの西日本豪雨によるLPガス容器の海への流失事故がありました。これは充填所のプラットホーム上の容器全部が想像を超える水の量に流されて氾濫した川から瀬戸内海に流失したものでした。この事故から今後の対策を講じる策が発表されております。自然災害の怖さを感じました。

最後に皆様の益々のご健勝を心よりお祈り申し上げます。